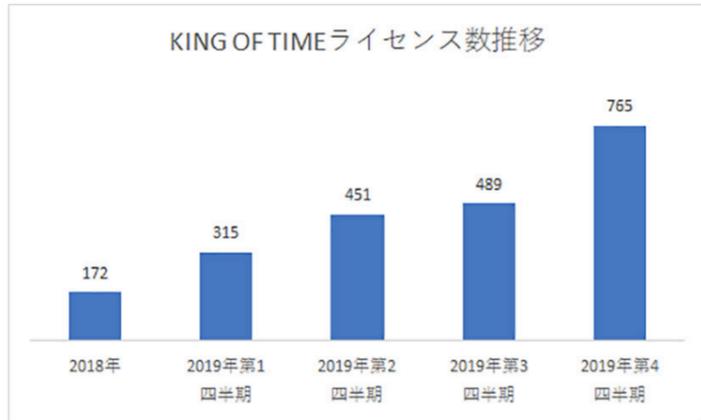


皆さんの「え？勤怠って管理しなきゃいけないの？」という声が聞こえてくるようですが、勤怠管理そのものは「労働基準法」においてすべての企業に実施が義務付けられています。勤怠管理の目的は「賃金の適切な管理」と「従業員の適切な労働時間の把握」です。「それならうちはタイムカードできちんと打刻してもらってるから大丈夫」「紙の出勤簿だけどきちんと集計するよ」それはとても素晴らしいのですが、残念ながら「それだけ」では不十分な時代が既にやっています。残業時間 45 時間規制や有休 5 日取得義務化、という言葉は良く聞きますが、それだけなら「うちはそんな残業しないし」「有給休暇？ 5 日取らせればいいでしょ」となりますよね。しかし、働き方改革関連法における労働安全衛生法が企業に求めているのは単純にこの二点を守るだけでなく、「その法律を守るためのチェックがリアルタイムで可能な仕組み」を用意せよということなのです。



そこで弊社がおすすめする勤怠管理ツールは「KING OF TIME」。タイムカードと同じように打刻データを記録していき、労働時間の算出、遅刻や欠勤回数の集計、そして有給休暇の管理を自動でおこなってくれます。これにより勤怠管理担当者の負担を大きく下げ、スムーズに給与計算を行えるようになります。それに加えて、残業、打刻修正など申請・承認が必要な面倒な処理も、スマートフォン、パソコンから各自が行う機能を使うことで、ダラダラ残業を防ぐ事も出来ます。

昨年の IT 活用戦略セミナーでも非常に人気を集めた KING OF TIME ブース。現在も 4 月の働き方改革法案施行を目指して導入中のお客様が何社かみえますが、コムデックのお客様での導入数は右グラフのように推移しています。



会社の業務を攻めと守りに分けるなら、勤怠管理は「守り」の仕事だとお考えになる方が多いでしょう。経営者の目線はどうしても「攻め」つまり売上を上げることに向かいますが、自陣の守りがしっかりしていなくては自らの牙城を崩される結果になりかねません。働き方改革法案がいよいよ中小企業にも適用される 2020 年 4 月、「何かしなくては」と思ったらまずはコムデックにご相談ください。現状の勤怠管理状況のヒアリングからスタートし、御社の勤務形態に合わせた管理環境構築を一からサポートします！

mini NEWS

ITサポート部からのお知らせ

Windows7サポート終了。弊社からのサポートも終了させていただきます。



TV や新聞、ネットニュースで報道されていますように、1 月 14 日をもって世界的に Microsoft Windows7/Office2010 のサポートが終了いたしました。それに伴い、弊社からの Windows7 サポートも終了させていただいておりますので、何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

今後 Windows7 に対してはセキュリティ対策も提供されなくなり、Windows7 の継続利用はセキュリティリスクの高い選択肢となります。現在も Windows7 をご利用のお客様は、可能な限り早いタイミングでの、Windows10/Office365 搭載パソコンへの更新を強く推奨いたします。ご不明な点や、PC 更新についてのご相談については IT サポートで賜っておりますので、トラブルが起きる前にお問い合わせいただけますようお願い申し上げます。



Imadoki

2020 February 02
vol.58

“サブスクリプション”



サブスクリプションつかってますか？

弊社のお隣イオンショッピングセンター「ララパーク」でも中高生が「タピる」（タピオカ入りミルクティーを飲む行為）姿が目立った 2019 年。流行アイテムが伊勢が津あたりまで来ると、いよいよブームの終焉を予感させますね。「いきなりステーキ」も津にできたと思ったら大量閉店のニュースが...

しかし、「タピる」と同じく昨年の流行語対象候補だった「サブスクリプション」は、一過性のブームではなく「モノの購入」から「コトの体験」への価値判断の移り変わりに合わせしっかり根付いたようです。書店に行けば (Amazon や楽天ブックスで「サブスク」と検索すれば)、大量の「サブスクリプション」関連書籍が並んでいます。既に初心者用の「60 分で学ぶ」や「事例集」が出ていますので、一般的なビジネスモデルとして定着、そして各分野でスピードは異なりますが、月額定額制モデルは増えてきています。特に映像と音楽はすでにサブスク利用が一般的になり、社員アンケートでも、CD を購入しているのはアイドルとの「握手券 / 2 ショット撮影」目的の社員だけという結果でした。

サブスクリプションとは？ 『商品やサービスに代金を直接支払うのではなく、利用できる期間に対して支払を行うサービスの事』 動画 DVD や、音楽 CD を毎月自宅にお届けしていたら物流、回収コストで成り立ちませんが、動画 & 音楽配信なら顧客は通信料金を自分で負担して入手してくれます。つまり配信・お届けが自由にできるスマホ時代に適合したビジネスモデルといえるのです。

経営目線で見れば、長期継続してもらえるビジネスモデルは魅力的ですね !! 早く見積の日々から脱却したい! あのトヨタ自動車ですら定額制で車を売り始める時代、いろいろな本を買い込んで勉強してみます。

みんなのサブスクリプション特集!

毎月一定の金額を支払いサービスを受ける…そんなサブスクリプション型のビジネスが急増していることはご存知でしょうか？
 もはや動画見放題、音楽聞き放題は当たり前、毎月洋服が届く「エアークローゼット」や、トヨタが提供する新車に税金・保険・メンテナンス代全て込みで3年間乗れる「KINTO」、さらには全国にある家に月額4万円で住み放題の「ADDress」……そんなユニークなサブスクリプションサービスが続々登場しています。コムデックがお客様にご提供させていただいている各種ライセンスも、サブスクリプションサービスのひとつです。
 そこで今回の Imadoki では、伊勢でサブスクリプションサービスを最も活用している（自称）コムデック社員たちがどんなサービスを利用しているかを調査いたしました！



社長
樋口雅寿

利用しているサービス



一押しサービス



銀行口座、楽天ポイント、マイレージ、株式や投資信託の残高が合計されて一目で保有資産の額がわかるのが最高ですね！（株が暴落してもすぐ反映されます…）



専務
生田智之

利用しているサービス



一押しサービス



遊びも仕事も欲しい情報はまず youtube で動画検索します。魚のさばき方もオウンドメディア構築も youtube で覚えました。有償化することで広告も出ないしバックグラウンド再生できて減茶便利！



ITサポート部
濱口裕汰

利用しているサービス



一押しサービス



Amazon プライムはメリットだらけ！メルスプランは、なかなか眼科に行く時間をとれない社会人にはかなり嬉しいサービスです。



クラウド事業部
西道涼

利用しているサービス



一押しサービス



pairs 課金していますが、現在5敗0勝中…是非探してみてください（笑）



総務部
羽根一希

利用しているサービス



一押しサービス



AppleMusic はもう無いと生きていけないですね。ジャンプはなによりかさばらない！バックナンバーも見られる！



Amazon プライムが圧倒的に利用者数が多いですね。月額500円(税込)でお急ぎ便が無料で利用できる他、ドラマや映画が見放題のPrime Video、200万曲利用可能なPrime Musicも追加料金なしで利用可能というところが強みでしょうか。
 AppleMusic、Spotifyはどちらも音楽配信サービス、youtubeプレミアムやNetflix、Huluは映像配信サービスですね。最近よくCMをやっているマネーフォワードMEは、コムデックでも利用しているマネーフォワード会計の個人家計簿版。課金をするとリアルタイムな口座情報が照会できるので非常に便利との声が上がっていました。コムデックのゲーマーから熱い支持を受けるのはプレイステーションネット

トワークとNintendoオンライン。ゲームというと家電量販店で「カセット」を買って…という時代はとうに過ぎ去ったようで、カセットに息を吹きかけるなどして埃を飛ばしていた世代としては少し物悲しいものがあります。そんな「モノ」以外を提供するサブスクリプションが並ぶ中、唯一現物が届くサービスが「メルスプラン」です。月々1,800円～の定額制で、コンタクトレンズやケア用品が届くというもの。確かに、数か月おきに眼科に行き処方箋をもらって購入するという手間が省けるのは楽ちんですね。

今回このアンケートを取る際に、「サブスクって毎月勝手にカードで決済されていくから何に課金されているかわからなくなる」との声が多く聞かれました。そう、まるで電気代や水道代のように、いつの間にか「当たり前のもの」として意識しなくなるのがサブスクリプションサービスなのです。サブスクリプションサービスのいい所は、同料金内でだんだんサービスの質や幅が向上していくところにあります。トライアル期間無料を謳うサービスがほとんどですから、毎月お金かかるのはちょっと…と敬遠しているあなたも、どれかひとつ初めてみて、その便利さを体験してみてくださいか？以上、アイドルとの握手のためにCDを買い続けている徳田がお届けしました！！

経営者様向け情報 ~ IT投資の追い風~ IT導入補助金2020について

経営者の皆様が今年もあるのか興味津々だった『IT導入補助金』ですが、ズバリあります！！
 45時間の残業規制や管理職を含めた勤務時間の把握が定められた「働き方改革法」に対応するには、勤怠管理体制は勿論ですが業務の効率化を図っていくことが重要です。

令和元年の中小企業の生産性革命推進事業費用として3年で3600億円が用意されています。
 IT導入補助金は前回同様に補助額の上限450万円、そして下限が40万円→30万円に引き下げられ投資額が少なく済むようになりました。前回のIT導入補助金では80万円～が最低のIT投資額だったため思い切った金額投資が必要でしたが、今回は60万円～となっており、より使いやすい補助金になっています。

✓ IT導入補助金
(サービス等生産性向上IT導入支援事業)
 バックオフィス業務の効率化等の付加価値向上に繋がるITツール導入を支援
※飲食、宿泊、小売・卸、運輸、医療、介護、保育等のサービス業の他、製造業や建築業等も対象。

＜補助額＞
30万～450万円

＜補助率＞
1/2

＜補助対象＞
バックオフィス業務の効率化や新たな顧客獲得などのためのITツール導入

※事業計画期間において、「給与支給総額が年率平均1.5%以上向上」、「事業場内最低賃金が地域別最低賃金+30円以上」を満たすこと等を申請要件（一部事業者は加点要件）とします。

※令和元年度補正予算案において中小機構に措置予定

- ✓ **予算規模**
 - ・ 中小企業の生産性革命推進事業費用として3年で3600億円
 - ※「小規模事業者持続化補助金」や「ものづくり補助金」を含む
- ✓ **加点対象**
 - ・ 給与支給総額が年率平均1.5%以上向上した事業者
 - ・ 事業場内最低賃金が地域別最低賃金+30円以上である事業者
- ✓ **減点対象**
 - ・ 3年以内にIT導入補助金を受給した事業者（申請は可能）
- ✓ **おそらく…**
 - 今回は通年応募となり、複数回の締め切りが用意されるようで、金額面と合わせてより使いやすくなるそうです。

まだ開始時期等ははっきりしませんが、情報収集に努めて参りますのでご期待ください。
 少子高齢化、働き方改革の実現に向けてIT化は待ったなし!! IT導入補助金を使ったチャレンジを2020年もコムデックはご支援いたします。